

見つけよう!今、元気なムラの取組



鳥羽マルシェ有限責任事業組合



鳥羽マルシェ(三重県鳥羽市)事業組合が2014年10月から地元の新鮮な農産物をマルシェで販売している。農協と漁協が共同出資して立ち上げた鳥羽マルシェ有限責任事業組合は、地元の農水産物を中心としたビューティーと漁協との共同出資で、地域活性化につなげる活動が成り立っている。

農協と漁協が共同出資 農かな食で観光も両立

生産者が農林水産物を加工した商品のP.R.に取り組んでいる



鳥羽マルシェ(三重県鳥羽市)事業組合が2014年10月から地元の新鮮な農産物をマルシェで販売している。農協と漁協が共同出資して立ち上げた鳥羽マルシェ有限責任事業組合は、地元の農水産物を中心としたビューティーと漁協との共同出資で、地域活性化につなげる活動が成り立っている。

大地の芸術祭実行委員会



棚田を題材にした作品

3年に一度開かれる国際芸術祭「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」の舞台、新潟県十日町市・津南町では、「大地の芸術祭」としてアートを通じて地域の魅力を掘り起こし、地域活性化につなげる活動が成り立っている。2015年の芸術祭では参加集落が110にて開催された。

アートで魅力引き出す 訪問者数は延べ51万人

芸術祭に向けて、住民、作家、アーティストなどから協力で作品を制作するのが特徴。地域の景観や文化を生かした作品の数々は

集落など各地に設置され

おり、期間中の50日間に延べ約51万人が作品を楽しんだ。

1994年、新潟県知事が提唱した「地域活性化政策」に基づいて企画が始動。過疎・高齢化が進む地域の再生に向けた計画が策定された。自治体、企業、芸術家などで構成する実行委員会が組織され、活性化事業の柱となる芸術祭が2000年に初めて開催された。

古民家を再生した「うぶすな家」は、芸術作品であると同様に地元食材を使った料理を提供する農家レストランとして活用されている。芸術祭から派生した取り組みでは、地元の特

別に、地元の特産品を

販売事業に加えて、交流活動も活性化を促進するイベントを開催

2003年には、「つまみ駅跡地に併設した津浪線、小学校の開校、統合など、地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを観る会などのイベントを開き、

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、

5年間で約2倍に増加した。

施設では春まつり、ホタルを

観る会などを好評を得ている。

2003年10月の鉄道の廃

駅跡地に情報発信・交流施設

地域の少子高齢化が課題となる

2004年4月に「ぶらっ

と歩くつなみ」を目前で建設

した農林水産省の交付金など

の販売食事の提供などを充実させている。修学旅行も活用し施設を整備

2015年には約1800万円で、